



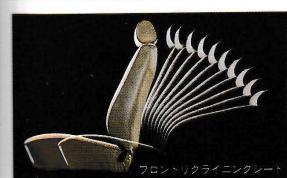
用途を広げて、スプリットリヤシート。

無理がない。つまり余裕がある4ドア・サルーンの室内。広さに加え、シートに代表されるつくりの良さは、サルーンの名にふさわしい。

広さと機能が支配するサルーンの室内

クーペでも、ハッチバックでもない4ドア・サルーンならではの味わい。それはドアを開け、身体をシートにあずければ誰もが実感されるはずです。乗る人を何よりも尊重した室内は、スタイリング優先主義の余裕なさとは無縫。後席のヘッドクリアランスのゆとりがいい例です。ラゲッジスペースと車室とか明快に分離されている点も、より落ちつけます。あくまで基本に忠実で欲張らない。それでいてクオリティには注意を払う。本物を見抜く眼をもつ方に、ミラージュⅡ 4ドア・サルーンの室内は真に価値あるものとうつるでしょう。

シートに座って、はじめて広さはわかります。單に寸法だけではわからないのが実質の室内の広がりです。姿勢、足のばし具合、圧迫感のなさ、明るさなどさまざまな要素が影響します。実際に座ってみることが何よりも大切。ミラージュⅡ 4ドア・サルーンは、まず足との広がりが違います。FWD(前輪駆動)システムならではのトンネルのないフラット・フロアは、とくに後席中央の足のやり場のなさを解消。しかもフロントシート後端部をえぐっているため、窮屈な思いをすることはありません。またボディサイドを外側に張り出したタンブルフォーム構造のため、もともと余裕のほしい肩口のゆとりも十分。計算されたシート高によってヘッドクリアランスもたっぷりとされています。大きな窓から光を誇る開放感あふれる室内は、ドライバーの方はもちろん後席に乗られる方にもやさしい心配りを施した理想の空間。空力ボディに秘められた4ドアサルーンの新世界を、ぜひご体験ください。



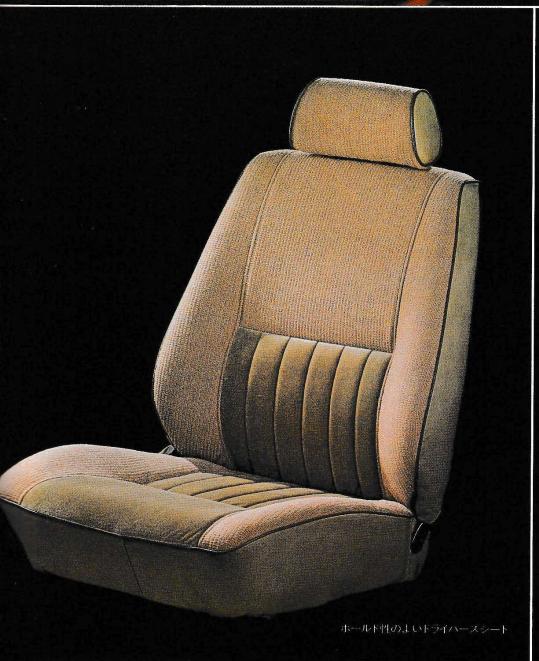
ドライバーをやさしく迎えるフロントシート

車は座った姿勢で走り続けます。つまりシートはドライバーと車の接点。そのよしあしは、運転のしやすさや疲れ具合にも大きく影響を及ぼします。まずホールド性とクッション性を徹底して研究。身体を確実に支持する形状とソフトな中にも芯の通った快適な座り心地を実現しました。厳しいシート耐久テストの繰り返しから、フロントシートに高弾性ウレタンを使用。長時間乗ってもヘタリを寄せつけません。そして、あらゆる運転姿勢に対応するため、フロントシートのリクライニングを32段調節と細かく設定。前後のスライドも180mmと十分な調節量を与えました。加えてフロントヘッドレストは、ノブロック操作でスムーズに上下

移動できるタイプ。ドライバーの体格やドライビングポジションに合わせて調節できます。サルーンと名乗るからにはリヤシートも吟味。前席にも後席にも変わらぬ快適さがあります。リヤシートのクッションの前後長はフロントシートと同じ470mm。幅も1270mmで大人3人がゆったりくつろげます。室内に出張りをくらわないU字型リヤサスペションの採用で、クッションも厚く、静かに乗り心地をおとどけします。なかでも4ドア・サルーンならではの乗り降りのしやすさも注目に値します。クッションの角を巧みにカットして足の運びを容易なものにしています。フロント/920mm、リヤ/1010mmの広いドア幅とあいまって荷物を持ったまでも、ラクな姿勢で乗り降りできます。



サルーンの名に恥じない室内の色あいやシートの肌吟味を重ねました。ドアトリム、1400SL・XLは部にあしらつた、ひときわ豪華なダッシュボードいっぱいにトレイなど、小物入れも使い席右下には、トランクと燃費のトランクリッド・オープナリッドオープナ(XL)⁽¹⁴⁰⁰⁾を設けました。ドアトリムをやさしく受けとめるリヤドア(GL-SL)。後席席皿は左右どちらも使える位置にあります。さく操作でドアが開くを



ホールド性のよいトライマースシート